

令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

総合学科として、多様な選択を生かし、主体的で充実した高校生活を通して自らの「夢」にチャレンジする生徒を育て、希望する進路を実現するための確かな学力が身につく「進学重視の総合学科」をめざす。

1. 夢チャレンジを具体化する教育活動の展開
2. とともに学び、ともに育つ学校生活の充実
3. 主体的・対話的で深い学びの実現と、確かな学力の育成

めざす生徒像

1. 21世紀をになう人
2. 知・徳・体の調和のとれた人
3. 時代の変化に対応できる人
4. 堺東高校から世界にはばたく人
5. 感性・創造性豊かな人

2 中期的目標（数値目標は、令和6年度に向けての予定です）

1 確かな学力の育成と授業改善

(1) 授業の充実と授業改善

ア 教員間における「授業見学」や研究授業の「研究協議」や生徒の「授業アンケート」を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」や1人1台のパソコン配備によるICTを活用した授業改善に取り組む。 ※授業アンケートにおける教材活用満足度をR6年度には90%とする。(R1：84%、R2：86%、R3：87%)

(2) 自分の意見をまとめ、相手に自分の考えを伝える能力の向上

ア 「総合的な探究の時間」の充実を図る。 ※総合学科アンケートにおける「コミュニケーション能力が身についた」R6年度には、78%とする。(R1：72%、R2：65%、R3：76%)

(3) 基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養

ア 「学力生活実態調査」の結果分析を踏まえ、基礎学力の定着を図る。 ※「学力生活実態調査」(1, 2年)におけるGTZの1年B2、2年B3を共にR6年度にはB2とする。(R1：[B2、B3]、R2：[B2、B3]、R3：[B3、B3])

イ 夏季休業中の講習の参加や「進路CAFE」等の利用を促進し、自ら学ぶ意欲を高める。 ※学校教育自己診断における「学習に頑張ってきた」R6年度には78%とする。(R1：72%、R2：72%、R3：76%)

2 安全で安心な学校づくり

(1) 人権教育の推進（生徒一人ひとりがそれぞれの個性を尊重しあう集団づくりを行い、人権を尊重する学校づくりを行う）

ア 自立支援コースの充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」学校づくりを推進するとともに府内の高等学校における支援教育力の向上に貢献する。

イ いじめの早期発見・対応、体罰防止など、生徒一人ひとりの人権を尊重する学校づくりを推進する。

(2) 教員の人権意識の高揚

ア 校内人権研修を通じて自らの人権感覚を高め、人権侵害のない学校づくりをめざす。

※教員の「学校教育自己診断」における『人権教育の校内研修や学習会は充実している』R6年度には75%とする。(R1：74%、R2：75%、R3：60%)

(3) 生徒の規範意識の醸成

ア インターネット等による人権侵害の防止や交通マナーを遵守する指導を徹底し、また薬物防止乱用教育に取り組む。

※生徒の「学校教育自己診断」における『生活指導上のルールを守っている』R6年度には94%とする。(R1：94%、R2：92%、R3：93%)

(4) 通学路の安全確保

ア 行政とともに学校周囲の歩道整備を計画し、地域の理解・協力も得ながら完成をめざす。

3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成

(1) キャリア教育の充実

ア 「総合的な探究の時間」「ホームルーム」「志学」等を通じてキャリア教育を充実する。

イ 保育所、病院、老人介護施設等へのインターンシップの充実を図り、それぞれの職業への理解を深める。

※生徒の「学校教育自己診断」のキャリア教育に係る満足度を令和6年度においても90%の維持(R1：90%、R2：90%、R3：90%)

「選択した科目で自分の進路選択につながるものが十分あった」の満足度R6年度には86%とする。(R1：86%、R2：80%、R3：84%)

(2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加

ア 「部活動に係る基本方針」に則り、部活動を活性化すると同時に、適切かつ計画的な活動を図る。

※部活動入部率をR6年度には75%とする。(R1：77%、R2：72%、R3：71%)

イ 学校行事への積極的な参加により、満足度を高める。

※「体育祭」「文化祭」の満足度をR6年度には92%、91%とする。(R1：[92、91]、R2：[一、83]、R3：[92、86])

(3) 生徒の対外活動の活性化と地域連携

ア 部活動や授業において、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加する。

※「自主性を伸ばすことが出来た」の満足度をR6年度には80%とする(R1：77%、R2：74%、R3：79%)

4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信

(1) ホームページの充実

ア 学校の情報をタイムリーに保護者・生徒に提供するとともに、外部に対して学校教育活動の周知を図る。

※HP、校長ブログ等の更新を頻繁に行い保護者の「学校教育自己診断」の情報提供満足度を維持する。(R1 : 83%、R2 : 81%、R3 : 88%)

(2) 学校説明会の充実

ア 学校説明会、オープンスクール及び、ミニ見学会等の内容を参加者のニーズに合うようアンケートを取り充実させる。

(3) 緊急時の連絡手段の構築と活用

ア 緊急時等における生徒・保護者・教職員の連絡手段の活用を図る。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年11・12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【学習指導】 (※%は肯定率)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒は授業について79% (1年85%、2年78%、3年73%) (昨年80%) が「難しい」と回答し昨年とほぼ横ばい、「1人1台端末を効果的に活用するなど授業の教え方を工夫している教員がいる」という評価は82% (1年90%、2年77%、3年80%) であった。(昨年までは「教え方に工夫」のみの別の質問であった。94%) 今後も、1人1台端末やICTの活用も含めた授業改善への取組みを続けたい。 ・保護者アンケートの「子どもは授業が分かりやすく楽しいといっている」の評価は、66%(76%)で昨年を下回った。今後も教え方の工夫と進捗・内容の検討の継続が必要である。 ・本校のキャリアガイダンス(将来の進路や生き方について考える機会)については生徒の90%(1年92%、2年86%、3年91%) (昨年90%)、保護者の89%(昨年90%)、教員の84%(昨年74%)が適切であると評価している。総合学科として、総合的な探究の時間も活用し、生徒への働きかけを今後も継続していく。 ・選択科目について、3年生徒の79%(昨年73%)、保護者の88%(昨年92%)、教員の73%(昨年79%)が「生徒の興味関心に応じている、期待通りであった」と評価している。さらに魅力ある科目となるよう工夫に努めたい。 <p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に対する意識については生徒の78%(1年90%、2年66%、3年78%) (昨年80%) が「行くのが楽しい」と回答し、また保護者の85%(昨年86%)が「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と、ほぼ昨年並みであるが、学年により大きな違いがみられる。今後もより安全で安心な学校づくりの取組みを行っていく。 ・保護者は本校の生徒指導に87%(昨年85%)が肯定的であった。生徒の「自分は生徒指導上のルールを守っている」では、90%(1年94%、2年92%、3年85%) (昨年93%)。ルールを確認できている生徒が多く、来年度も持続していきたい。また、「人権教育の機会と内容」については生徒の89%(1年91%、2年88%、3年87%) (昨年91%)、保護者の89%(昨年90%)が肯定的に捉えており昨年度とほぼ横ばい。「いじめへの対応」については、生徒の85%(1年94%、2年79%、3年82%) (昨年87%)、保護者の87%(昨年83%)が肯定的にとらえている。新型コロナウイルス感染症に関わる偏見や差別につながる行為、いじめや体罰等の人権侵害のない学校を今後もめざしていきたい。 <p>【学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生は89%(昨年89%)が総合学科を選んでよかったと評価し、81%(昨年79%)が「自分で考える力・自主性を伸ばせた」、78%(昨年76%)が「コミュニケーション能力が身についた」と評価し、両者ともに昨年度を上回った。総合学科の特色の一部見直しを視野に入れ、今後も生徒の育成に励みたい。 ・文化祭や体育祭等の学校行事について保護者は91%(昨年85%)が活発であると評価し、生徒は文化祭に82%(1年92%、2年73%、3年81%) (昨年83%)、体育祭は77%(1年86%、2年66%、3年78%) (昨年78%)が肯定的に答えており、ほぼ昨年と同じ水準であった。今後も生徒の自主性を尊重した学校行事の充実を図っていきたい。 ・教育相談については、生徒の「担任の先生以外に相談できる先生がいる」は48%(1年43%、2年46%、3年56%) (昨年49%)と、横ばいであるが低い数値になっている。主に担任が面談等を繰り返し行い、親身になって相談にのっているが、生徒が気軽に相談できる体制の構築に向け、今後も相談室に生徒支援委員会の教員が交替で常駐するなどに取り組む。 ・教員の「PTA活動へ参加している」が46%(昨年36%)であった。新型コロナウイルス感染症の影響もあり関係者のみで対応しているところもある。校内でできるPTA活動の企画や行事の内容を検討し、教職員に啓発することによって参加率を高めたい。 ・教員の「仕事の引継ぎがスムーズに行われて継続性がある」については46%(昨年36%)であった。これに対しては、年度替わりの各分掌、各学年、各委員会において、次年度の課題に向けての対応の仕方や、課題解決方法などを引継ぎ、一人ひとりが組織人として情報共有、共通理解を深めていく必要がある。特に主任や長が変わる場合は必ず全てのデータ(電子・紙媒体)を引き継ぎ、円滑に運営が行われるようにすることが必要である。 ・教員の「職員会議等が意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」については46%(昨年36%)であった。職員会議については、あらかじめ企画委員会で協議内容の論点を整理し、意見交換も十分に行われた後の開催となるため、そのような評価になると思われる。今年度も秋に「スクールミッション」をテーマに研究協議形式の研修会をしたところ、活発な討議がなされた。来年度も、より活発な意見交換ができる環境づくりを行う必要があると考える。 <p>【情報提供】</p>	<p>第1回(7/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全で安心な学校づくりについて ・生徒主体の教育活動を通して、失敗させながら成長させることができるのは学校の役割。立ち上がるサポートをお願いする。 ・学年が進みクラスが変わって馴染めていない生徒へのケアをお願いする。 ・野球部の生徒が自転車を降りて挨拶してくれてとても気持ちいいが、多くの生徒はそのような挨拶ができていない。しっかりと挨拶ができるようになってもらいたい。 ○夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成について ・進路を早く決めたいと思う生徒が増えてきているが、最後まで頑張れる何らかの工夫が必要。また、スマートフォンの使用時間と学力に相関関係があることがわかっており、学校だけでなく家庭での意識が大事。 <p>第2回(11/17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開かれた学校づくりの推進と情報の発信(スクールミッションの策定)について ・大学でも2年前に作成したが、3つのキーワードを示すのはいいと思う。 ・中学校でも高校のアドミッションポリシーなどを参考にどのような教育をしているのか調べ、高校のさらにその先の進路までを見据えて進路決定するように指導している。 ○キャリア教育の充実について ・「探究」がキーワードになっている。探究活動を行うことで進路や学校生活にこだわりを持つことができるのではないかと感じる。 ○情報の発信と安全で安心な学校づくりについて ・中学校の進路指導では、この成績でどこに合格できるのが保護者の大きな関心事になっているが、育てたい生徒像などをよく調べて参考にしてほしいと考えている。選択が多い総合学科として様々な可能性があることを伝えるとよいと思う。 ・自立支援コースを堺東高校の特色として周知していくとよいと思う。生徒の体験活動については、身体障がいだけでなく、その他の障がいや見えない障がいについても考える機会があるとよい。 <p>第3回(1/26)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力の育成について ・朝のSHRの時間に読書させる取り組みは、1時間めの集中力が上がるなどの成果が見られるとのこと、これからも続けてもらいたい。 ○安全で安心な学校づくりについて ・子どもはすごく楽しそうに学校に通っている。 ○自立支援コースの成果の府内での共有について ・インクルーシブな良い方向に向かっている学校だということを、学校の魅力として発信してもらいたい。 ○キャリア教育の充実について ・進学先よりも、生徒が学びたい科目を選択でき、充実したキャリア教育を通して生徒が将来の夢に向かってチャレンジしようと頑張っている総合学科高校ということ、魅力として発信すればいい。 ○学校行事への積極的な参加について ・様々な場面で生徒にかかわっていただき感謝。体育祭・文化祭もとても楽しんで参加していた。PTA広報誌は、府高Pで2番めの評価を受けた。掲載されている生徒の表情がよかったのだと思う。 ○学外活動への積極的な参加と地域連携について ・地域自治会のマラソン大会に堺東高校の野球部員が参加してくれ

府立堺東高等学校

<p>・「学校は教育情報について知らせてくれる。」については、生徒は86%（1年90%、2年81%、3年88%）（昨年87%）の肯定率である。保護者は82%（昨年88%）の肯定率で、今後も情報提供の充実に向けて取組みを続けていく。</p> <p>【環境】</p> <p>・「学校の施設・設備に満足している」については、生徒61%（1年63%、2年49%、3年71%）（昨年66%）、保護者73%（昨年72%）、教員70%（昨年54%）であった。</p>	<p>たことを、同じく参加していた中学校の陸上部員が喜んでいて、</p> <p>○情報の発信について</p> <p>・卒業生が、どのような職業に就き、どのような人生を送っているのか発信できればいいのではないかと。</p> <p>・在校生の様子をホームページに掲載してもらえれば保護者としても嬉しい。</p>
--	---

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標 [R3年度値]	自己評価
1 確かな学力の育成と授業改善	<p>(1) 「主体的、対話的で深い学び」、ICTを活用した授業改善、学びの保障</p> <p>(2) 相手に自分の考えを伝える</p> <p>(3) 基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養</p>	<p>(1) ア・教員相互に資質を高め合う授業公開や研究協議、管理職の授業観察、授業アンケート結果の検証等を通じて、「主体的・対話的で深い学び」、1人1台端末等も活用した授業改善に取り組むとともに感染症の発生時に家庭学習に取り組めるようICTを活用するなど学びの保障を行う。</p> <p>(2) ア・授業、集会において自分の考えを発表したり、意見を聞いたりする機会を設ける。 イ・SDGs（持続可能な開発目標）の視点も踏まえて「総合的な探究の時間」を実施し、ポスターセッション等を通じて自分の考えを伝え、国際的な視野にたてるグローバル人材の育成をめざす。</p> <p>(3) ア・講習等で「学力生活実態調査」のやり直しを行い、基礎学力を定着させる。 イ・夏季休業中の講習等に自ら参加する姿勢を育てる。</p>	<p>(1) ア・授業アンケートの「教材活用」における肯定的評価88% [87%] ・学校教育自己診断における「授業の工夫」の肯定率95% [93%]</p> <p>(2) ア、イ ・「産業社会と人間・総合的な探究の時間」においてグループでのプレゼンテーションを実施し、さらにクラス、学年での発表会を開催する。 ・総合学科アンケートの「コミュニケーション能力が身についた」の維持 [76%]</p> <p>(3) ア・「ガンドリ」を実施し、基礎学力の定着を図り「学力生活実態調査」1、2年におけるGTZを(B2、B3)にする。[B3、B3] イ・学校教育自己診断の「学習に頑張ってきた」78% [74%]</p>	<p>(1) ア・観点別学習状況評価に対応する授業デザインと教材作成に取り組むとともに、ICTの活用も徐々に進み、「教材活用」に91%の肯定評価を得た。(○) ・「授業の工夫」の肯定率は94%で目標に僅かに届かなかったが、工夫している教員が以前より増えたと感じている生徒が半数以上で、減少したと感じる生徒は一桁であり、高水準を維持できている。(○) 次年度も授業の充実をめざし、研究授業等の教員相互の研修活動を実施する。</p> <p>(2) ア、イ ・「夢チャレンジ」として実施している「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」の中で、協働活動、プレゼンテーション作成、発表、課題研究と、切れ目のない学びと成長の過程を通して、自らの意見を多くの人に発表できる力をつけている。SDGsの視点から社会の問題を探究する活動も、計画通り進めることができた。(○) ・総合学科アンケート「コミュニケーション能力が身についた」78% (◎)</p> <p>(3) ア・各教科・科目の宿題と「ガンドリ」の実施が、生徒にとって過度の負担とならないよう調整を図りつつ実施した。1、2年におけるGTZは(B3、C1)で、目標を達成できなかった。(△) 授業充実による学力向上を基本に、講習、補習等の実施やキャリア教育等による生徒の意欲換気も進めていく。 イ・夏季休業中の講習に多くの生徒が参加する雰囲気はコロナ禍の2シーズンを経て在校生に継承されていないため、呼掛けなどにより奨励したものの、参加生徒はおよそ150人で昨年度より39人減少した。(△) ・学校教育自己診断の「学習に頑張ってきた」の肯定率は昨年度の74%から2ポイント後退し72%となった。(△) キャリア教育の充実と一体で、学習に向かう態度の育成を進めたい。</p>

府立堺東高等学校

<p>2 安全で安心な学校づくり</p>	<p>(1) 人権教育の推進 ア 「ともに学びともに育つ」教育のさらなる推進</p> <p>イ 合理的配慮への取組み</p> <p>ウ 自立支援コースの成果の府内での共有</p> <p>(2) 教員の人権感覚や人権意識の育成 ア 人権研修の充実</p> <p>イ 教育相談体制の充実</p> <p>ウ いじめ防止</p> <p>(3) 生徒の規範意識の醸成</p> <p>(4) 通学路の安全確保</p> <p>(5) 働き方改革</p>	<p>(1) ア・「自立支援コース」生徒の授業交流の機会を保障するとともに支援学校との交流の継続実施</p> <p>・障がい者理解、SNS などの人権学習を推進し、適切な人権感覚を身につけさせる。</p> <p>イ・生徒、保護者から配慮を求める意思表示があった場合は「合理的配慮」を行う。</p> <p>ウ・高等学校支援教育力充実事業支援教育サポート校として府内の高等学校における「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する。</p> <p>(2) ア・様々な人権課題の中から人権研修を年間2回開催し研修の充実を図る</p> <p>イ・新型コロナウイルス感染症で様々なストレスにさらされている状況のもと、一人ひとりの心身の状況把握に努めるとともに組織的な教育相談体制を整え、全体で教育相談にあたる意識を醸成する。</p> <p>ウ・新型コロナウイルス感染症に対する正しい知識と理解を深め、いじめについてどこにでも起こりうることと認識し「いじめ防止基本方針」に則り組織的に取り組む</p> <p>(3) ア・安全安心な学習環境の維持</p> <p>イ・外部講師などによる講演を実施し情報モラル、交通ルール遵守の姿勢を育てるとともに薬物乱用防止教育に取り組む</p> <p>(4) ア・堺市建設局、地域自治会の協力を得て学校周辺の歩道整備を推進する。</p> <p>(5) ア・「働き方改革委員会」において働き方改革を進める。</p>	<p>(1) ア・「自立支援コース」生徒の交流授業の科目数(6教科)とする。</p> <p>・支援学校との交流を2回実施 [2回]</p> <p>・「学校教育自己診断」(保護者)における「人権感覚を身につけている」肯定率の維持 [97%]</p> <p>イ・支援を必要とする生徒への取組みを懇談会、連絡ノートで保護者と連絡を密にして継続し、把握に努める。 [懇談会1回、連絡ノート授業日ごと]</p> <p>ウ・要請をすべて承諾し、府内の高校の支援教育力の向上するため、他校の教員を集めて情報交換会・研修会を3回実施する。[4回]</p> <p>(2) ア・学校教育自己診断(教員)「人権教育の校内研修や学習会は充実している」肯定率70% [60%]</p> <p>イ・学校教育自己診断の「担任以外で相談できる先生がいる」肯定率50% [49%]</p> <p>ウ・学校教育自己診断におけるいじめ対応の肯定率維持 [87%]</p> <p>(3) ア・学校教育自己診断「生徒指導上のルール」を守っている94% [93%]</p> <p>イ・外部講師による情報モラル(SNS含む)、交通安全、薬物乱用防止指導それぞれ1回実施する。</p> <p>(4) ア・堺市建設局、地域自治会との協議の継続し、歩道整備を進める。</p> <p>(5) ア・業務を整理し、働きやすい職場環境の整備に努めるとともに管理職等による声かけなどにより、時間外勤務者の削減に努める。</p>	<p>(1) ア・「自立支援コース」生徒の交流授業は理科、社会、保健体育、芸術、家庭、情報の6教科で実施し、「ともに学びともに育つ」教育に取り組んでいる。(○)</p> <p>・支援学校と緊密に連携し、1回目をオンライン交流、2回目は感染症対策を徹底し本校へ招いての交流会を実施した。(○)</p> <p>・「学校教育自己診断」(保護者)における「人権感覚を身につけている」の肯定率は96%で昨年度を1ポイント下回ったが、高水準を保つことができた。(○)</p> <p>イ・懇談会の実施、連絡帳や電話等による保護者との日々の連携を通して信頼関係を構築している。(○)</p> <p>ウ・高等学校支援教育力充実事業支援教育サポート校として、相談要請への派遣(18校59件)、支援教育コーディネーター連絡会(4学区3回、府内全域私立高校1回)、教職員研修2回(府立高校他校)、研修会3回を開催した。(◎)</p> <p>(2) ア・生徒の指導や支援に密接なテーマ設定を行い、人権講演会および人権研修と実施形態を変えて開催し、研修の充実を図った。学校教育自己診断(教員)「人権教育の校内研修や学習会は充実している」肯定率は75%であった。(○)</p> <p>イ・相談窓口の周知や教職員間の定期的な情報共有などにより、相談しやすい体制づくりを行ってきたが、学校教育自己診断「担任以外で相談できる先生がいる」の肯定率48%となった。(△)教職員から生徒への声掛けなど、更なる相談しやすい雰囲気の醸成を図っていく。</p> <p>ウ・組織的な対応を行ってきたが、いじめ対応の肯定率(学校教育自己診断)は85%であった。(△)前述の教育相談体制の充実と合わせて、教職員一人ひとりが敏感で寄り添う指導ができるよう資質の向上に努める。</p> <p>(3) ア・学校教育自己診断「生徒指導上のルール」を守っている90%と昨年度より低下した。(△)規範意識を向上させるため、生徒指導面からのアプローチに加え、生徒自治会活動など生徒側からの変化も引き出せるよう取り組みたい。</p> <p>イ・情報モラル教育、交通安全教育、薬物乱用防止教育それぞれに、外部講師を招いて講習会を実施した。(○)</p> <p>(4) ア・堺市での予算確保の見通しが立っていないが、現状について地域自治会と情報共有するとともに、地元市議員へも申し入れを行っている。(○)</p> <p>(5) ア・メール配信システムを活用した生徒・保護者への連絡事項送信および欠席等連絡受信、学校掲示板を活用した教職員間連絡、会議資料の一部ペーパーレス化など、業務負担の削減を図ることで働き方改革を進めた。(○)今後も業務負担削減を進めるとともに、業務削減が可能なものの検討も行っていく。</p>
--------------------------	---	---	--	--

<p>3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成</p>	<p>(1) キャリア教育の充実 ア 教科・科目の連携 イ インターンシップの充実</p> <p>(2) ア 部活動の適切な運営と学校行事への積極的な参加</p> <p>(3) ア 学外活動への積極的な参加と地域連携</p>	<p>(1) ア・生徒の進路実現に向け「産社」「志学」「総合的な探究の時間」「HR」等の連携を図るとともに「志学」において大学や専門学校へのオープンキャンパス等への積極的な参加などキャリア教育の充実、自己実現を図ろうとする意欲態度の育成を図る。また、地域の大学との連携を図る</p> <p>イ・保育所、病院、老人介護施設、医療系大学等へのインターンシップの継続</p> <p>(2) ア・「部活動に係る活動方針」、「部活動の適切な運営」に則り生徒・教職員にとって適切な活動を進める。</p> <p>・「体育祭」「文化祭」「クラスマッチ」、「修学旅行」等の生徒が自主運営する行事の活性化を図り自己肯定感を高める</p> <p>(3) ア・地域小学校との交流の継続 イ・地域のイベントやボランティア活動への参加</p>	<p>(1) ア・総合学科アンケートにおける「選択科目における進路選択」の満足度維持 [84%]</p> <p>・学校教育自己診断における「キャリア教育」満足度の維持[90%]</p> <p>イ・保育所、病院、老人介護施設、医療系大学等へのインターンシップの継続 [16名]</p> <p>(2) ア・体罰ゼロの継続 ・クラブ紹介の充実などを図り、入部率の維持、伸長[71%]</p> <p>・「体育祭」「文化祭」の満足度 90% [体 92 文 86%]</p> <p>・「自主性を伸ばすことが出来た」(総合学科アンケート) 80% [79%]</p> <p>(3) ア・地域小学校との授業交流の継続 イ・地域のボランティア活動の継続 [82名]</p>	<p>(1) ア・科目選択説明会、進路分野別説明会の他、全生徒の保護者懇談を実施して丁寧に説明を行った。総合学科アンケートにおける「選択科目における進路選択」の満足度は83%で、昨年度比-1ポイントだが、経年の値から見ると、ほぼ維持できた。(○)</p> <p>・学校教育自己診断における「キャリア教育」満足度は90%で維持できた。(○)</p> <p>イ・訪問することが困難、または受入れが再開されていないなど、新型コロナウイルス感染症の影響が依然続いており、インターンシップの実施は4回の予定、高大連携事業は2回の予定であったが、ほぼ中止となった。看護師体験の2名のみとなった。(△)</p> <p>(2) ア・体罰のない安全で安心な教育を継続する。(○)</p> <p>・コロナ禍での活動制限、臨時休校や部員が揃わない状況、長期間のマスク着用と非接触によるコミュニケーション不足、また家計支援のためのアルバイトなど、種々の要因でクラブ加入率が64%と低迷した。(△)</p> <p>部活動の魅力発信を強化して、回復に努める。</p> <p>・体育祭は、感染症対策に対応した競技内容としつつ、できる限りコロナ前に近づけた運営・内容とし、3年保護者の観覧を解禁した。(○)</p> <p>・文化祭も感染症対策を講じ、コロナ前に近い内容で開催し、保護者および近隣住民限定で公開した。(○)</p> <p>・「体育祭」満足度83%、「文化祭」満足度88%であった。満足度の下がった体育祭について、次年度は生徒の準備委員会を発足させ、実施競技や応援方法等の再検討を行う。(△)</p> <p>・「自主性を伸ばすことが出来た」(総合学科アンケート) 肯定率は81%で目標を達成した(○)</p> <p>(3) ア・地域小学校との「福祉」の授業での交流(○)</p> <p>イ・ボランティア部による地域でのボランティア活動や運動部員とうによる地域イベントへの参加をはじめ、教職員も地域活動に参画し、継続的な交流を行っている。(○)</p> <p>・地域のボランティア活動125名(◎)</p>
------------------------------------	---	--	---	--

府立堺東高等学校

<p>推 4 進 開 と 開 情 け 報 ら の れた づ 学 く 校 り の 発 づ 信 の</p>	<p>(1) ア ホームページの活用</p> <p>(2) イ 学校説明会での情報発信</p>	<p>(1) ア・ホームページを活用し進路情報も含めた学校の情報の発信をするとともに緊急時情報発信への活用も行う。</p> <p>(2) イ・参加者のニーズをとらえた学校説明会、ミニ見学会を開催するとともに中学校等からの説明会に積極的に参加</p>	<p>(1) ア・ホームページ、ブログの更新を頻繁に行い、保護者の学校教育自己診断における「教育情報について、提供の努力をしている」肯定率維持 [88%]</p> <p>(2) イ・生徒・保護者のニーズを把握するため、学校説明会等において、「説明のわかりやすさ」「学校に対する興味」などのアンケートを実施する。</p>	<p>(1) ア・一斉メール送信システムによる保護者・生徒への随時の連絡や、ブログ・ホームページでの学校情報発信(295回)、学年通信や各分掌の配付物などを通して、教育情報の提供に注力したが、学校教育自己診断(保護者)「教育情報について、提供の努力をしている」の肯定率は82%で昨年度から下げた。(△) 満足度を高められるよう、各学年・分掌で点検を行い、発信の努力を行っていきたい。</p> <p>(2) イ・学校説明会等においてアンケートを実施し、参加者のニーズの把握に努め、以後の改善・充実を図った。(○) ・中学校等の要請に応じ、説明会に積極的に参加した。(○) ・7月以降、オープンスクール、学校説明会、ミニ見学会を継続的に開催し、学校情報の発信に努めた。(○)</p>
---	---	--	---	---